

★チャレンジ! 夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

お手伝いのすすめ～充実した冬休みに～

12月26日（火）から19日間の冬休みを迎えます。冬休みは、この1年間を振り返り、新しい年を気持ちよくスタートさせるための大切な区切りの休みです。家庭で親子、兄弟・姉妹と過ごす時間が多くあります。家族が協力し合い、年末の大掃除や新年に向けての会話をするなど、温かい雰囲気をつくって過ごしてほしいと思います。

また、「お手伝いはいいから自分のことをしなさい」「お手伝いより勉強しなさい」というように、保護者の方が手伝おうとしている子どもの意欲を奪っていることはありませんか。お手伝いを続けることにより、最後までやり通す根気強さや責任感、家の仕事や苦勞についての理解、自立していく力などを身に付けていきます。

特に年末・年始の忙しいときは、家族の一員としての自覚をもたせ、家の手伝いをさせるよい機会です。生活のリズムを崩すことなく、お子さんに合わせた計画を立て、楽しい冬休みを過ごしてほしいと願っています。

1月14日（火）には元気に登校する子どもたちと会うことを楽しみにしています。

アウトメディアチャレンジに御協力ください！！

現代はテレビ・新聞等のマスメディアだけでなく、インターネットやSNSなどを通して誰もが情報の送り手となり、不特定多数の人々に伝えられる時代になっています。こうした中、子どもたちのSNSを中心としたメディア依存は、依然とした大きな社会問題となっています。

秋田県教育委員会では毎年、県内の小学4年生から中学3年生を対象に「スマートフォン等、インターネット利用実態調査」を行っています。本校でも11月に本調査を実施しました。その結果をみると、本校（小学4年生から小学6年生）では、「自分専用のスマートフォンを持っている。」と回答した子どもが61.1%いました。その中で、「利用する上でのルールを家の人と決めていきますか。」という質問項目に「決めているが守れていない」と回答した子どもが38.9%、「決めていない」と回答した子どもが22.2%いました。これは非常に高い数値です。その結果、「平日、学習以外で約何時間利用していますか。」という質問項目に「2～3時間」と回答した子どもが27.8%、「4時間以上」と回答した子どもが5.6%という、非常に心配な状態であることが分かりました。

そこで、12月10日（火）のPTA全体会でもお願いしましたが、12月26日（木）から30日（月）までの5日間をアウトメディアチャレンジの期間とします。本日、お子さんを通じて「チャレンジシート」を配付しました。お子さんとよく話し合い、アウトメディアチャレンジに御協力ください。スマートフォンやインターネットなどの適切な利用について、親子で取り組むよい機会になることを期待しています。

なお、「チャレンジシート」は冬休み明けの1月14日（火）に学級担任に提出くださるようお願いいたします。